

定例町議会で町政方針を述べる佐藤多一町長

しています。 いて暮らせる

依然としてデフレや雇用不安を抱よって押し上げられたに過ぎず、 えてい アメリカ発の世界同時不況を経 まちづくりの推進 日本の内需は国の景気対策に て

実感できる景気の回復 います。

表からなる「まちづくりセンター医院跡地に建設します。町民の代た情報交流拠点として、旧佐々木園工房のまち・つべつ」を目指し 環として、 運営協議会」を立ち上げ、「 町は舞 の実現に向け、 仮称津別 として、商店街の活性化や「田、行政としての先導的役割の一仮称津別町多目的活動センター 町民が主役」 施設の管理運営体区」である基本構想

政 方 針

あ いさつを しあう町に

4年目

進めます。

行財政改革の推進

公会計改革に取り組みます

がら、地域福祉計画を策定し取り第5次総合計画と整合性を図りな

で佐藤町長から予算提案にあたが行われました。議会開会の冒において、平成22年度予算の審3月10日から始まった定例町議 若干の増となる歳入予算となりま 本年度は「第5次総合計画」、「

頭で佐藤町長譲が行われま会において、

引き続き行財政改革を推進しなが 生活基本計画」、「地域公共交通総合 と協議を進めてきました「町づくら、今日まで議会や町民の皆さん を推進していきます。 ある「歩いて暮らせるまちづくり を具体的に進め、 が実際に動き出す年で、 町政の柱で

その一部を紹介します。(町政方針 り町政方針が示されましたので、

の全文は町のホー

ムペー

ジに掲載

第5次総合計画 は舞台、 町民が主役

保健

医療

福祉が連携

高齢化による少子高齢化

ます。

現するため、具体的な実行プラン をまとめる準備の年と位置づけて、 第5次総合計画は基本構想を実 中期的な財政計画を策定し

実施します。 し、福祉・保健・医療など各分野元気な老後を過ごせる地域を目指 と連携を深め、 が健やかで安心して子育てをし、 抱えていますが、 厳しい財政状況など多くの課題を 過疎による高齢化が進む中で 各種施策を構築し ては、 町民一人ひとり 誰もが自

るため、

固定資産台帳を整備しま



のでいき まちづくりセンター構想が盛り込まれた第5次総合計画

を答申する原田策定審議会長と富田会長職務代理

自主・

し、引き続き行財政改革を推進革大綱推進計画(改訂版)を策 を「Miniman」を 要員会の答申を受けて、新行政行 念に基づき、津別町行政改革推進 取り組みを進めてきました。 地域を自分たちの手で」の基本理 本町も新行政行革大綱を策定 ての地方公共団体に義務付けられ、 平成22年度以降も「自分たちの 集中改革プランの公表が、 自立まちづくり推進計画の 単を推進し 新行政行 す

度研究会報告書」に基づき、すべ度研究会報告書」に基づき、すべりた。総務省の「新地方公会計制時門家を招いて研修を重ねてきまりのな推進体制を確立し、外部の分別では、全 ての公共資産を公正価値で評価す



う体制が確立されるように「地域分らしく、安心して暮らせ支え合

地域福祉につい

の人を地域が支えるネットワー

ク

·j」を、

ボランティア

社会福祉協議会などと協働し

【総務費】

- ・地域情報化経費 603万円 テレビ難視対策設備非常用電源設置に係る経費
- ・森の健康館管理業務 2,525万円 森の健康館の管理運営、町民の森電気工事などに係る経費
- ・地域再生チャレンジ交付金事業 802万円 森林セラピー基地のフィールド生理・物理の実験委託などに係る経費 【民生費】
- ・乳幼児医療費助成事業 550万円 現行小学生の入院まで助成していたが、中学生も対象として助成 を拡大
- ・老人福祉管理経費 538万円 高栄集会所と豊美寿の家屋根改修に係る経費

【衛生費】

- ・地域医療維持助成事業 5,000万円 住民の健康を守る地域医療を維持確保するため津別病院に助成
- ・ごみ焼却施設管理経費 3,273万円 一般廃棄物を大空町で広域処理するための事業負担金
- ・生ごみ処理経費 573万円 大空町より搬入分の生ごみ堆肥化に係る経費



4月1日より再開される森の健康館



屋根の塗装改修が行われる高栄集会所



地域医療の拠点である津別病院

平成22年度の主な事業をお知らせします



愛林のまちの木材資源

旭町に新たに12戸の町営住宅(写真:豊永)



校舎、体育館の外壁塗装工事が行われます

【農林業費】

- ・愛林のまち緑資源を守る推進事業 1,686万円 民有林振興対策として、丸玉産業森づくり基金を充当し実施
- ·木造公共施設等整備事業 875万円 (仮称)津別町多目的活動センターの建設実施設計に係る経費

【土木費】

- ・まちなか団地建設整備事業 1億9,450万円 (委託料603万円、工事請負費3.444万円、公有財産購入費1億5.403万円) 町営住宅12戸の建設に係る経費
- ・町道整備事業 7,886万円 町道51号線、町道69号線、町道62号線の改良舗装工事 耐震化に合わせて橋梁長寿命化点検業務を実施

【教育費】

- ・津別高校振興対策事業 1,946万円 津別高校の二間口を維持し地元高校存続のための振興対策として、 バス通学費や教科書の補助を行う
- ・教材・備品購入経費 211万円 新学習指導要領移行に伴う小中学校理科教材の購入に係る経費
- 少年期振興経費 453万円 船橋市・南アルプス市との交流を行う経費 ·中学校施設整備事業 797万円
- 津別中学校の木部外壁塗装工事などに係る経費